

1984年 9月25日

毎月10日、25日発行

第70号 4頁150円

定期購読料(一部22回)  
手渡し 3000円/開封 3500円/密封 4000円

# 赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

発行 東京都新宿区西新宿3-5-3-406  
電話(03)349-8598 東京7-86947  
編集・发行人 北沢晋  
関西赤路社  
大阪市福島区大門1-19-13  
副島ビル 電話(06)462-7030

## 成田用水着工弾劾

# 10・14横堀現地へ

## 「85年体制」攻撃に抗して 反安保大衆共同機関を

九月成田用水着工阻止十一・十四横堀集会は文字通り、全国の労働者人民が三里塚農園十九年の不戦の闘いと新たな怒りを共有し、一期実力阻止のわれわれからする宣戰布告をたたきつける重大な闘いである。一期の闘いが始まった。同志諸君、十一・十四横堀へ全力決起しよう。

(三重塚方針記事は面)

### 革命の主体準備急ぐ

六月極東トマホーク配備につづく、今秋九月全斗換来日・天皇會といつの重大事の施行、成田用水着工攻撃十一期の宣戰布告は、決してバラバラのことではなく、一連の事態の具体的表現に他ならない。

それは、一貫いえば、世界的規模での戦争と革命の激動の時代の始まりにあって、米帝の対ソ世界戦略の下で、日帝・中曾根自民党政府が、「戦後史の総決算」をいふ言葉に、「五五年体制」からいわゆる「八五年体制」への歴史的転換をおこすための攻撃である。

自民党政府が、「戦後史の総決算」をいふ言葉に、「五五年体制」からいわゆる「八五年体制」への歴史的転換をおこすための攻撃である。

### 同盟一期建設へ進撃せよ

最後に強調したいのは新たな革新的躍進である。

命創建とこれを推進するわが

同盟の闘い行動する同盟建設

立・総譲解体攻撃が最後の局面に

沈空母化、四海峽封鎖計画、自衛隊の有事朝鮮出兵など侵略戦争

計画の一環としての「侵略香港」

日本軍事同盟勢つく

青年行動隊を中心とする反対同盟

と支援五十名は、ただ一軒部落

区はついに用水の本格着工を强行してきました。六名の機動隊の威嚇態勢に守られ、下流にあたる住

た前から工事が行われる東部の青年行動隊団結小屋前に集中した。前から工事を引受けた

と外から体を張った抗議行動を与えられた。この対し、反対同盟農民と労働者・学生は機動隊の阻止線の内

落の小川進さん家の泊りこんだ

た。前から工事が行われる東部の青年行動隊団結小屋前に集中した。前から工事を引受けた

</





